

豊富なノウハウに基づく財務コンサルティングで  
クライアント様の事業展開を力強くサポート

“財務のスペシャリスト”として、「財務」の観点から企業経営を力強くお支えする『MMC』。クライアント様の“夢”を実現させるべく、それぞれの“思い”に添った的確なコンサルティングを行う弊社に寄せられる信頼は篤い。「クライアント様の味方(協力者)として、最大限お手伝いをしていきたい」と語る社長の村井に、タレントの渡辺めぐみさんが雑誌のインタビューとしていらした際の記事をご紹介します。



代表取締役

村井 浩二

東京都出身。簿記学校を卒業後会計事務所  
所に就職。実践的かつ的確な税務および  
財務のコンサルティングで、クライアン  
トから篤い信頼を獲得する。その実績を  
もとに、2005年10月に独立を果た  
し、『MMC』を立ち上げた。

有限会社 MMC

東京都千代田区神田神保町2丁目20番地 ワカヤギビル504号

TEL.03-3511-6038 FAX.03-3511-6039

URL : <http://www.mmc-office.co.jp>

渡辺 まず社長は歩みから伺います。

村井 簿記の専門学校に在学中、税理士試験を受けたのですが、自分では受かるとおぼろげに思っていたのですが、実は証券会社への就職を決めていたんです。ところが入社式の直前に合格発表があり、一部科目合格していたんですよ。その発表を受けて「頑張れば税理士になれるかもしれない!」と、証券会社を退職。会計事務所に就職し、日中は実務、夜は学校に通って税理士試験の勉強に勤しんでいました。また、当時20歳代前半だった私にとって、人生の大先輩である様々な経営者の方とお会いして多様な考え方に触れたことが大きな刺激となりました。

渡辺 独立を決意されたきっかけは?

村井 勤め先の会計事務所はとても良い事務所で、本当に色々な面でお世話になりました。しかし、働き始めて16年が経ち、そろそろ別の事務所に移って勉強したいという気持ちが芽生えてきたんです。そして、そんな私の思いをクライアントの方々に伝えたのですが、懇意にさせていただいていたある会社の社長さんが「ただ転職するよりも、一步ステップを上げて独立をすべきだ。応援させてもらおうよ。」とアドバイスして下さいました。

**渡辺** 社長が勤務時代に真摯な姿勢でお仕事に取り組んでおられたからこそ、独立を勧められたんでしょう。お仕事上ではどういったことを大切にされていますか。

**村井** クライアント様に心から納得していただけるコンサルティングを行うことです。と言うのも実は、私は独立前に大きな病気を患ったのですが、その際、正確な情報と治療方針を聞かせてもらって自分が納得できれば、たとえ病気が完治しなくても後悔はしない……その納得できたかどうか非常に大きいと身をもって感じたのです。そして、我々が手掛ける財務コンサルティングも根底は同じ。クライアント様に一方的に説明するだけでは、全てを理解していただけません。だからこそクライアント様の性格や考え方など“内面”を的確に把握した上で、その方に納得していただける最適なコンサルティングを行うように心掛けているんです。

**渡辺** なるほど。ご自身の病気が、財務コンサルタントとしての確固たる信念を築くきっかけともなったんですね。

**村井** また、何か新しい事業を始めようとする際、周囲には意外と“味方”がないもの。実際、我々のような財務コンサルタントも、クライアント様の意見にストップを掛けてしまうことがあるんです。しかし、独立して私も一人の経営者となり、経営上のブレーンからストップを掛けられるのはとても悲しいことだと気付きました。だからこそ私は、クライアント様の味方（協力者）、精神的な支柱となり、たとえ問題はあろうとも「まずはやってみましょう」と全面的に後押ししているんですよ。そしてクライアント様の“思い”を最大限実現させるお手伝いができればと考えています。

「村井社長のお話からは、誠実なお人柄がとても伝わってきました。数字ばかりに目がいきがちになる財務関連のお仕事の中でも、自らの信念を貫き、“人”に焦点を当てた業務を追求されているのは素晴らしいですね。だからこそ、勤務時代のクライアントから独立を勧められたんでしょう。これからのご活躍が楽しみでなりません。一層の飛躍を目指して、頑張ってください！」



## 人、四十にして惑わず

「周囲からのアドバイスを受け入れつつ、自らの中の“芯”を確立していきたい」  
“不惑”を迎えた『MMC』の村井社長は、自らの今後についてこう語る。  
その言葉通り、社長は様々な経営者との交流を図り、それを自らの成長の糧にすることで、確たる“基盤”を作り上げている。  
まさに“不惑”の意味に違ふことなく、自分の道を突き進む社長。  
その実直な姿に、さらなる飛躍を予感せずにはいられない。